

○Kは、休園後しばらくは、幼稚園ある？給食はいつから？など聞いてくるのがよくありましたが、最近は聞いてくることさえ無くなってしまいました。私自身は、現実を受け入れなければと思いつつも、幼稚園グッズが目に入る度に、切ない気持ちになっています。ただ、コロナのせいで・・・コロナさえなかったら・・・コロナさえ無ければ・・・と考えても、何も改善されることはないと思います。少し強引だったとしてもコロナのお陰でこの本にであえた、下の子はより刺激を受けて成長している、朝は少しゆっくり過ごせる・・・などとプラスに考えるようにしています。それでも、主人は通常勤務が続き、近くに頼れる親族もない中で、抱え込んだ負の感情を、上手にコントロール出来なくなることもあります。そんな時は取って距離を置き、少しさぼって、心を調える時間を作るように気を付けています。一日も早く、Kの大好きな幼稚園に通える日々が訪れるよう心から祈っています。

○新型コロナウイルスという未知との戦い。休園の長期化、日々どのように過ごしたらいいのかと悩む毎日です。3月の休園の前に園長先生が「ノアのはこぶね」の話をされた事、いつか必ずみんなに会える。その事が支えになっています。とは言っても、日々どうすればいいのか・・・。ということだけが頭をぐるぐると回り、自分が落ち着いていない事が娘と不安にさせているのではと感じています。4月16日以降、夜に何度も起きるようになったり、常に主人、私、本人（娘）と3人で行動を共にしようしたり・・・。主人は、現場で働かなくてはならないので、週に2日しか娘に会えません。また、勤務地も大阪なので、感染のリスクもあるのでは、と私は不安に思っています。娘は毎日ように幼稚園ごっこをしています。気が向くと手伝い（洗濯物をたたむ、食事の配膳をする）をしてくれますが、遊んだおもちゃの片付けはほとんどしません。特に私が片付けることはせず、そのままにしているのですが、（Bさんになったし）私は自分で気づいて片付けて欲しいと思っています。長い時間、家で一緒に過ごしていると悪いところばかり（片付けしない）目についていたのですが、園だよりを読んで、観察し、娘の本質的なものに気付くようにしたいです。今の私にそれができるのかわかりませんが、頑張ります。娘が一人ということで、良い事も悪い事も全て気になってしまいます。遊ぶ相手も親だけ、祖父母は県外なので会えていません。「すべての命を守るため」今は我慢する時だと思い、つらい時、自分で吐き出せる様にしながら、みなさんに会えるその日まで工夫して過ごしていきたいと思っています。

○家族みんな元気に過ごすことができています。先生方もお変わりありませんでしょうか。毎日同じ日の繰り返しのようにですが、お家で過ごす中でも、少しずつ出来ることが増えたり、成長を感じる事がたくさんあります。その中でも「お祈りの時間」は特別で、大きな声で「かみさま、おはようございます！」と元気よくあいさつしたり、タブレットの字もすらすら読めるようになったり、親子で課題に取り組める充実した時間の一助となっています。晴れた日には妹と一緒に湖岸で散歩をしたり、なわとびに挑戦したりしています。湖岸に出ると、幼稚園のお友だちにも時々会います。とても嬉しそうにしています。でもなかなか感染症拡大防止の観点から気にせず、のびのびとという訳にはいきません。早く安心してお友だちと過ごせて穏やかな日が戻りますように。この自粛で多くの人々が救われますようにと願っています。「明けない夜はない。」トンネルは長く続く事もあるかもしれませんが、子どもたちと元気に過ごしたいと思います。

○この度は、新型コロナウイルスにより、先生方にとっても、子どもたち、保護者にとっても悩まされる日常になってしまったことに残念な気持ちでいっぱいです。しかし、園長先生が毎日更新して下さる朝のお祈りのおかげで家にも聖母幼稚園と繋がっていると実感させていただいています。ありがとうございます。休園が始まった3月頃は、慣れない自粛生活に母子共にストレスを溜めておりましたが、今は少し適応してきたのか、娘も「コロナだから仕方ないね。」と子どもなりに割り切っているようです。最近では、外では自転車の練習、家では子供用の簡易な将棋に夢中になっています。しかし、早くCさんのお世話がしたい！とBさんの気持ちが芽生えていますので、Bさんとして登園させてあげられないことにジレンマを感じています。理解ある職場のおかげで早い段階から登園自粛をさせていただき、娘と濃厚な時間を過ごしていますが、私自身出来た親ではありませんので、息が詰まってしまって娘と上手く向き合えないことも多々。今日一日を無駄にしてしまったのではないかと反省の日々です。しかし、今ある娘との時間は、神さまが与えてくださった時間なんだと思って、登園させてあげられる日まで娘にしっかりと寄り添っていきたくと思っています。（略）

○Aは、風邪を引きやすいのですが、休みに入ってから風邪を引くこともなく元気に過ごしています。休みに入ってから始めの頃は、折り紙や粘土、はさみを使ったり、作ることをしていましたが、最近はいつも仮面ライダーや恐竜ごっこで戦おう！と言って戦っていま

す。外に行くことも嫌がっています。始業式の前はお友だちと遊びたい！とか公園に行きたい！とか言っていたのですが、今は公園に行くに恥ずかしくなっちゃってから、行きたくないと言っています。他の人たちと接することが少なく、お友だちと遊んだり、人と話をすることなど嫌がり、内向的になってしまうのではないかという不安はあります。でも、この時期だけと思い、親子の時間を大切に過ごすように心掛けています。が、やりたいことが主に“戦う”ということで、かなり疲れてしまいますが……。でも、Aも早く幼稚園に行きたい！先生に会いたい！と言っています。一日も早く元の生活に戻れるよう、幼稚園が始まるのを楽しみに、一日一日を頑張って大切に過ごしていきたいと思います。

(園長より)

今日はBさんのお母様方の分かち合いです。去年のC組を過ごし、さあ次の学年に！Bさんに！という思いで休園になり、保護者の皆様も残念な気持ちでおられたのは、正直な気持ちでしょう。良く伝わってきました。このことを前向きにできるだけとらえようと努力され、子どもとどのように過ごそうかと考え、そして、これからの生活に希望を持つとされている姿に、尊敬の念を持ちました。どんな時も、子どもは親をよく見えています。見られています。ちょっと怖いくらい……。ですから、しんどい時もありますね。でも、本当の気持ちで子どもに話したり、接すると、子どもは、子どもではなく、大人のようによくわかっていることに気付くことがあります。子どもだから……。という思いは私は一度も持ったことがありません。子どもたちは、立派な一人の人格者です。子どもを尊敬しています。子どもは素晴らしい、神さまに一番近い人々です。